



**清里町における
澱粉原料用ばれいしょ生産の優良事例**

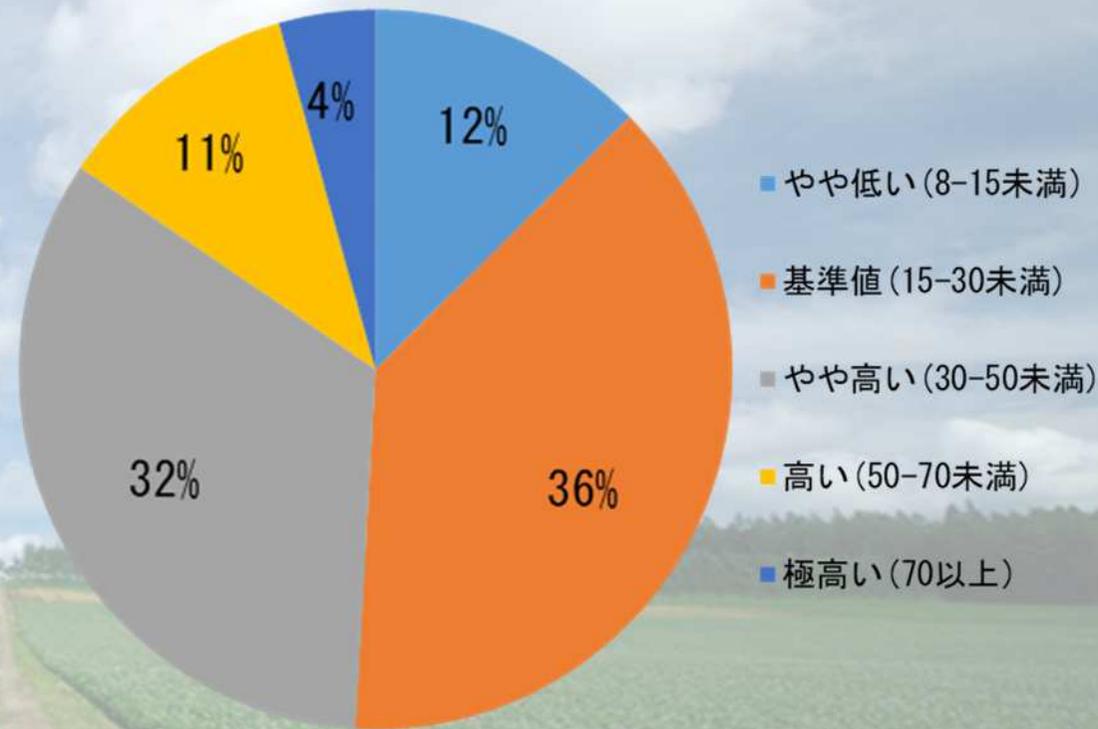
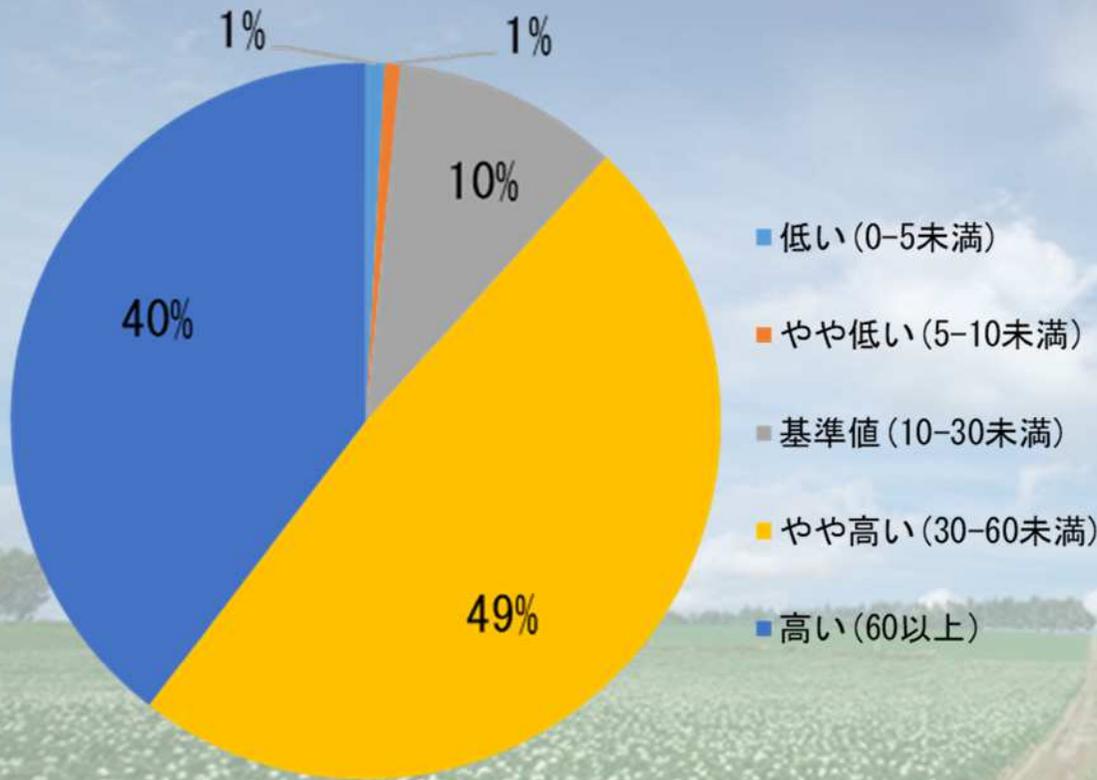
網走農業改良普及センター清里支所

※ R5~R7土壤診断値 約1,300点

清里町における有効態リン酸と交換性加里

有効態リン酸: 基準値10~30

交換性加里: 基準値15~30



約9割が基準値より高い!

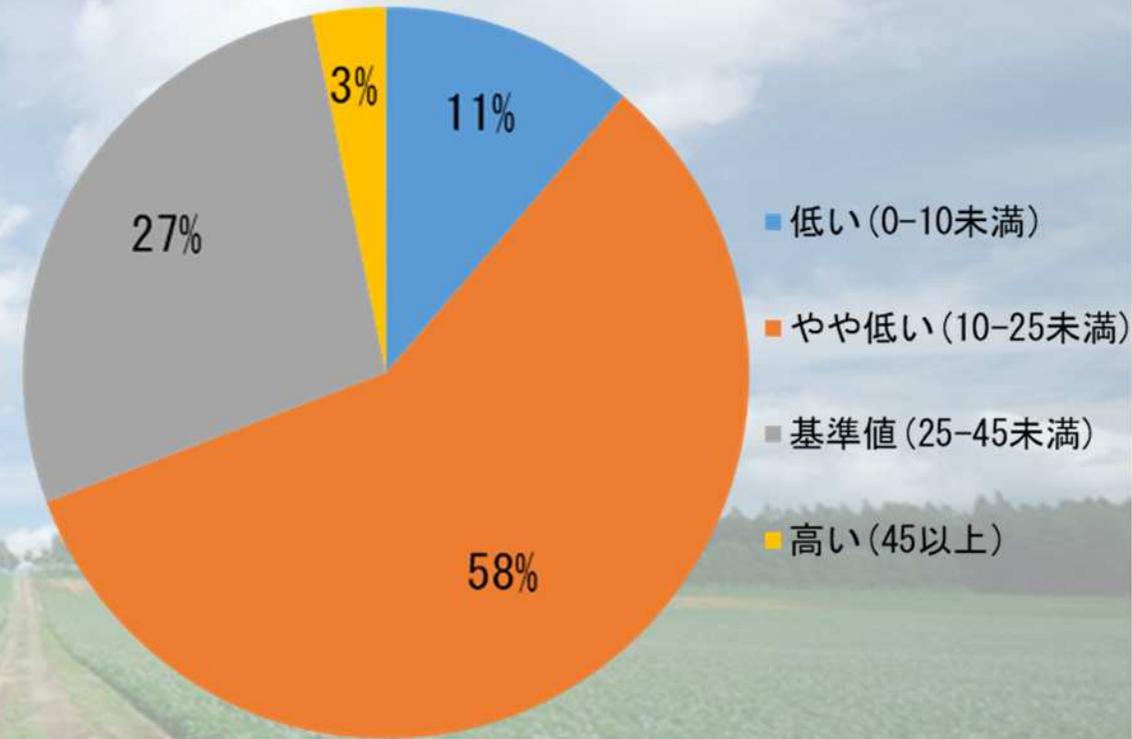
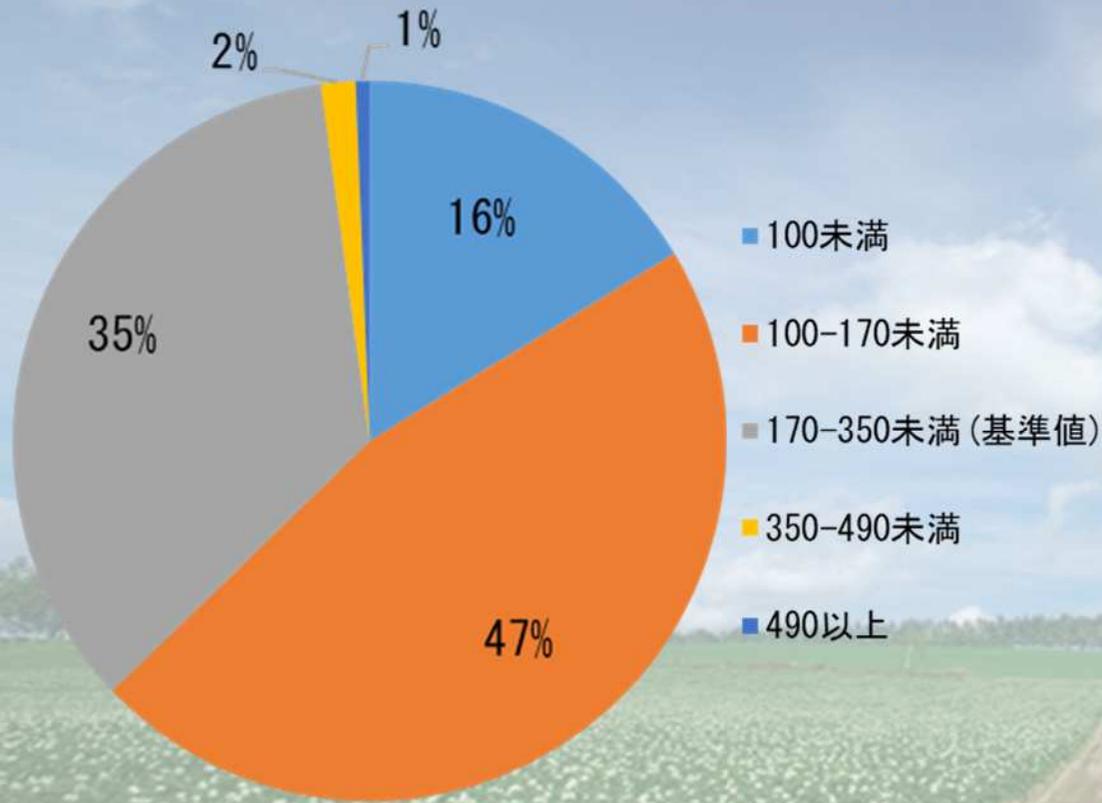
半数以上が加里過剰!

※ R5~R7土壤診断値 約1,300点

清里町における交換性石灰と交換性苦土

交換性石灰：基準値170~350

交換性苦土：基準値25~45



半数以上が基準値未満 . . . 約7割が基準値より低い!

第2回 でん粉原料用馬鈴しょ栽培共励会受賞者の事例

年産	品種名	耕作面積 (ha)	10aあたり収量		対比 (%)	生産量 (kg)	ライマン 価 (%)	換算 でん粉量 (kg)
			農家単収 (kg)	JA平均単収 (kg)				
3年産	コナヒメ コナユタカ	14.77	4,502	4,291	105%	664,931	19.19	127,600
4年産	コナヒメ コナユタカ	14.89	4,868	4,517	108%	724,808	20.16	146,121
5年産	コナヒメ コナユタカ	14.44	5,146	3,953	130%	743,089	18.42	136,877
6年産	コナヒメ コナユタカ	14.06	5,071	4,179	121%	713,040	20.29	144,676
7年産	コナヒメ コナユタカ	14.13	4,828	3,738	129%	682,242	19.99	136,380
5カ年平均		14.46	4,883	4,136	118%	705,984	19.61	138,443

適切な輪作体系の維持・病害虫防除の徹底

- 約10年前に春まき小麦、4年前に大豆を導入

➡ できるだけ連作を減らし、適切な輪作体系を心がけている。

例)



- 7月上旬から夏疫病・軟腐病に対して、定期的な防除を実施

➡ 予防剤中心の防除により、コスト減+茎を長持ちさせる！



地域の土壌特性に対応した施肥を実践



Km-5a層が浅い位置に堆積

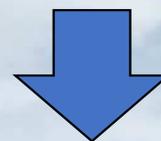


摩周岳
(カムイヌプリ)



(拡大)

- ・ 摩周岳の噴火に由来した ^(軽石) Km-5a層 により肥料成分が抜けやすい土壌特性を有する



追肥で緩効性肥料を施用！

- ・ すべてのほ場で定期的に土壌診断を実施



診断結果に基づき、施肥量を決定！

硫酸マグネシウムの施用

- ・ 防除のたびに硫酸マグネシウム500倍で散布

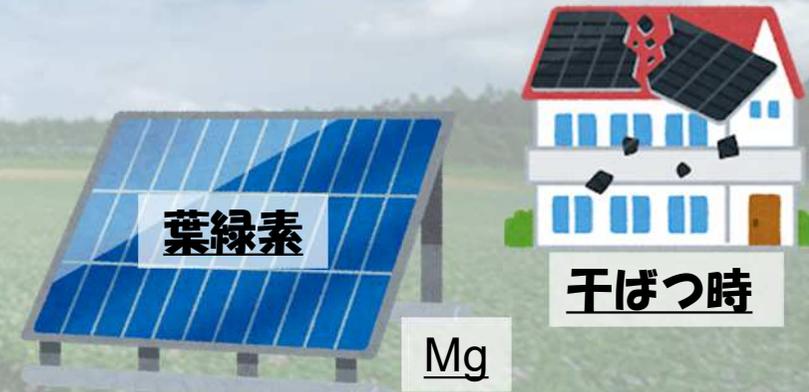
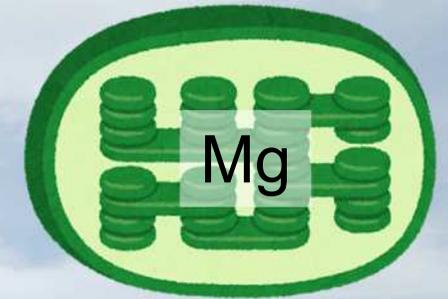


得られる効果

- ・ 葉色及び光合成量の安定化
- ・ 生育後半の“バテ”を抑える
- ・ 養分転流がスムーズになる
- ・ 高温少雨においても、葉面から吸収できる

マグネシウム
(苦土)

葉緑素の主成分、
リンの転流に関与など



太陽光パネル=葉緑素、支柱=Mg

さいごに・・・

適正な輪作体系
の維持

計画的な病害虫
の防除

土壌診断値に
応じた適正施肥

今一度、
基本技術の励行を！

